

## 花き類・観葉植物(作物群登録)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	適用作目・品種等	疫病	灰色かび病	菌核病	白絹病	株腐病	茎腐病	立枯病	苗木立枯病	黒斑病	うどんこ病	炭疽病	斑点病
カリグリーン溶	NC		*a	-	き										◎		
アグロケア水	BM2		*e	-	ラ										◎		
バチスター水	BM2		*e	-											◎		
ポトキラー水	BM2		*e	-			ダ										
サンクリスタル乳	-		-	-											◎		
トップジンM水	1		-	5	ル			◎									
ピリカット乳	39		*a	6	キ										◎		
アフェットFL	7		*a	3	チ		◎								◎		
パレード20FL	7		*a	3	ば										◎		
モンカットFL40	7		-	3				◎									
ファンタジスタ顆水	11		*a	5	る		◎										
オラクル顆水	21		*g	3	ポ	◎											
フルピカFL	9		*a	5	ス		◎										
セイビア-FL20	12		*e	4	ホ		◎										
リゾレックス水	14		*c	5					◎	◎	◎						
			-	5				◎									
リゾレックス粉	14		*d	1								◎					
アンビルFL	3		*a	7	ラ										◎		
トリフミン水	3		*a	5	ラ										◎		
ピクシオDF	17		*a	4			◎										
ポリオキシシNAL溶	19		*a	8			◎							◎	◎		
サンヨール乳	M1		*f	8	ク		◎								◎		
チオノックFL	M3		*a	6	リ		◎									◎	
トレノックスFL	M3		*a	6	リ		◎									◎	
オーソサイド水80	M4		-	8	バ					◎	◎	◎					
ダコニール1000FL	M5		-	6	ユ										◎		◎
モレスタン水	M10		*a	10	カ										◎		

花き類・観葉植物

## 花き類・観葉植物(作物群登録)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	適用作物・品種等	疫病	灰色かび病	菌核病	白絹病	株腐病	茎腐病	立枯病	苗木立枯病	黒斑病	うどんこ病	炭疽病	斑点病	
エコピタ液	-		*f	-													◎	
ユニフォーム粒	4・11		*b	3								®						
ゲッター水	1・10		-	5	ヒ		◎											
ショウチノスケFL	9・U13		*e	2													◎	
オロンディスウルトラSC	49・40		*e	2	き	◎												
パンチョTF顆水	3・U6		-	2													◎	
ポリバリン水	19・M7		*a	8	ト		◎											

\*a:発病初期

\*b:定植時又は生育期

\*c:生育期

\*d:定植前

\*e:発病前～発病初期

\*f:発生初期

\*g:鉢上げ時又は鉢替え時又は生育期

カ:カーネーションを除く

キ:キク、宿根カスミソウ、リンドウを除く

ク:キク、バラ、ペチュニア、スターチス、プリムラ、パンジーを除く

ス:バラ、スターチス、宿根カスミソウ、ユリ、リンドウを除く

ダ:使用方法はダクト内投入

チ:キク、ユリ、チューリップ、リンドウを除く

ト:ストック、スターチス、チューリップ、バラ、クルクマ、キクを除く

バ:バラ、リンドウ、センニチコウ、コスモス、ヒマワリ、シネリア、スイト

ピー、ミヤコワスレ、アンズリウム、斑入りアマドコロを除く

ヒ:ヒマワリ、ゼラニウムを除く

ホ:キンセンカ、ホワイトレースフラワーを除く

ポ:ポット・プランター等の容器栽培

ラ:バラ、キクを除く

リ:リンドウを除く

ル:トルコギキョウを除く

ユ:バラ、キク、チューリップ、ユリ、リンドウを除く

キ:キクを除く

ル:キク、トルコギキョウを除く

バ:バラ、キク、リンドウ、トルコギキョウを除く

®:リゾクトニア属菌による病害

花き類・観葉植物(作物群登録)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人	使	使	使	適	ア	ア	カ	コ	ハ	コ	ネ	ハ	ヨ	ハ	オ	ナ	カ	そ	
		畜	用	用	用	用	ザ	ブ	メ	ナ	グ	オ	キ	マ	ト	ス	オ	メ	タ	の	
		毒	時	用	用	目	ミ	ラ	ラ	リ	ナ	オ	リ	キ	ウ	モ	タ	ダ	タ	他	
		性	期	回	条	品	ウ	ム	ム	ム	ム	ム	ム	ム	ム	ム	ム	ム	ム	害	
			(日	数	種	等	マ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	虫	
			数)	件	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	
スピノエース顆水	5		*a	2	キ	◎															
エコマスターBT	11A		*a	-												◎					
エスマルクDF	11A		*a	-						◎						◎					
フローバックDF	11A		*a	-												◎					
コンフェューザーV	-		*f	-							◎				ヨ	◎	◎			ウ	
サフオイル乳	-		*a	-	キ													◎			
サンクリスタル乳	-		-	-														◎			
スパイカルプラス	-		*a	-	施													◎			
スパイカルEX	-		*a	-	施													◎			
スパイデックス	-		*a	-	施	バ												◎			
スラゴ	-		*j	-	*2														◎	◎	フ
スワルスキープラス	-		*i	-	施	◎															
スワルバンカー	-		*i	-	施	◎															
バイオセーフ	-		*c	-																	ゾ
			*h	-												◎					
リモニカ	-		*i	-	施	◎															
オンコル粒5	1A		*b	3	ス	◎															
オルトラン水	1B		*a	5		◎	◎				◎			◎	◎						
オルトラン粒	1B		*a	5	エ	◎	◎							◎	◎						
カルホス微粒F	1B	劇	*d	1									カ								
ジェイエース溶	1B		*a	5	ら	◎	◎														
スミチオン乳	1B		-	6		◎					◎		◎								ツ
ネマキック粒	1B		*k	1	キ																コ
マラソン乳	1B		*a	6		◎												◎			
ペンタック水	2A		-	-	施	ラ												◎			
アーデントFL	3A		*a	5		◎															
アディオソ乳	3A		*a	6	ハ	◎	◎							◎	◎	◎					
ガードバイトA粒	3A		*L	6										◎							
ネキリバイト粒	3A		*L	6										◎							
ロディー乳	3A	劇	-	6		◎												◎			
アクタラ顆溶	4A		*a	6	ア	ミ				◎											
アクタラ粒5	4A		*b	1		◎															
アドマイヤーFL	4A	劇	*a	5	キ	◎															
アドマイヤー1粒	4A		*b	5	レ	◎															

花き類・観葉植物



## 花き類・観葉植物(作物群登録)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用	使用	使用	適	ア	カ	コ	ハ	コ	ア	ネ	ハ	ヨ	ハ	オ	ハ	ナ	カ	そ
			使用時期(回数)	使用回数	使用回数	適用作物・品種等	ザミウムシ	ブラムシ	メラムシ	ナジラミ	モグリバエ	オナ	キリムシ	マキムシ	トウモロコシ	ハスモンヨトウ	オオタバコ	ダニ	メクジ	タツム	他
ヨーバルFL	28		*a	3												◎	◎				
ダニオーテFL	33		*a	2														◎			
プレオFL	UN		*a	4											◎	◎					
エコピタ液	-		*a	-			◎	◎										◎			
サンヨール乳	-		*a	8	ペ		◎												◎		
ムシラップ	-		*a	-			◎													◎	
ダブルシューターSE	5・-		*a	2			◎													◎	
アクセルキングFL	21A・22B	劇	*a	4		キ	◎	◎													◎

\*1:使用に当たっては地域の関係機関と協議する必要がある。

\*2:「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ及びヒメリンゴマイマイガの発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置」での登録。

\*3:花き類・観葉植物栽培温室等の生息地に散布、あるいは圃場周辺雑草地の生息地に作物にかからないように土壌表面処理する。

\*4:土壌灌注

\*a:発生初期 \*b:生育期 \*c:幼虫発生初期 \*d:定植時 \*e:栽培期間中

\*f:対象作物の栽培全期間 \*h:老令幼虫発生期 \*i:発生直前～発生初期

\*j:発生時 \*k:定植前 \*L:生育初期

ア:宿根アスター、トルコギキョウ、キクを除く

イ:イラクサギンウワバ及びクロバネキノコバエ類

ウ:タマナギンウワバ及びイラクサギンウワバ

エ:キク、宿根スターチス、カーネーション、アリウム、タデアイを除く

カ:カブラヤガ ガ:キク、ガーベラを除く キ:キクを除く

ク:キク、キンセンカを除く

コ:ネコブセンチュウ及びネダニ類 シ:シロイチモジヨトウ

ス:キク、ストックを除く ズ:キンケクチプトゾウムシ幼虫

ツ:バタ類 デ:バラ、キク、カーネーション、デルフィニウムを除く

ト:ストック、リンドウを除く ネ:カーネーション、キクを除く

ハ:ハボタンを除く バ:バラを除く

フ:アフリカマイマイ及びヒメリンゴマイマイ

ペ:キク、バラ、ペチュニア、スターチス、プリムラ、パンジーを除く

マ:マメハモグリバエ ミ:ミカンキイロアザミウマ

ヨ:ヨトウガ及びシロイチモジヨトウ ラ:カーネーション、バラを除く

リ:キク、リンドウを除く レ:キク、バラ、ペチュニア、レザーファンを除く

ロ:クロバネキノコバエ類 が:ガーベラを除く ら:バラ、キクを除く

リ:リンドウを除く 施:施設栽培